



# 三春中学校だより

第8号

発行日 平成30年 5月24日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

## 【『信頼』とは！ ～たくさんの「信頼関係」が見られます。～】

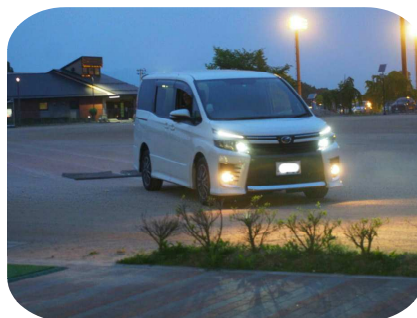
ある日の朝、校門で子どもたち一人ひとりを迎えているときのこと、ある男子生徒から、「校長先生、フェンスが曲がっていますよ。」という言葉がもらいました。早速、確認してみると、フェンスと支柱をつなぐ留め金がなくなっていて、フェンスの金網がぶらぶらしていたのです。

12日(土)の小学校の運動会でたまたまお会いした外部作業員の佐久間さんに、早速、相談したところ、金物屋さんにも同じ留め金の在庫がなく、方々を探しているところだということでした。休みが明けて月曜日、出勤して、いつものように校門に向かうと、ぶらぶらしていたフェンスは、しっかりと留め金で支柱に固定されていました。お休みの間に留め金を探しに駆け回り、月曜日にはしっかりと作業が完了していたという事実には驚きました。そして、感謝いたしました。信頼感が私の心にしっかりと形作られました。

どうしたら『信頼』を勝ち取ることができるのだろうかという人もいますが、そう難しいことではないと思います。学校であれば、「子どもたちのよりよい成長や安全・安心のために何をしたらか」だと思います。

そんな目で学校を見回してみると、グラウンドでは、サッカー部の顧問と部員の子どもたちが車座になって何かを相談していました。チームのことについて顧問と部員が一緒になって話し合う姿、ソフト部の顧問は「トンボ」を手に、子どもたちと一緒にグラウンド整理をしていました。校長室前では、グラウンドに向かって、「ありがとうございました。また、よろしくお願ひします。」と、自分たちを心身共に成長させてくれるグラウンドに向かってあいさつをしていました。子どもたちが帰った後には、グラウンドをワゴン車が走り回っていてびっくりしましたが、車の後部にレーキを装着してグラウンドならしをしてくれている先生の車でした。目を校内に転じると、校長室隣の会議室では、生徒会の代表委員会が開催され、友達の、そして、生徒会の自立・自治にむけた話し合いがもたれていました。

そんな子どもたちを、そして、それを指導する先生方を、心より『信頼』します。信頼されないと悩むだけで、何もしないのでは、何もかわりません。まず、子どもたちのため、友達のために、心を込めて、ひたむきに行動してみると、結果として、『信頼』につながるのだと、三春中学校の子どもたちや職員の姿を見ていてそう思いました。「信頼は勝ち取るもの」でしょう。



## 【学校や地域の特色を生かし、小学校で運動会！ ～お招きありがとうございました。～】

5月12日(土)と19日(土)の2週にわたって、三春中学校区5校の小学校の運動会が開催されました。お招きをいただき、12日に三春、中妻、御木沢、沢石の4小学校を、19日に中郷小1校の運動会に参加してまいりました。どの小学校さんも、学校や地域の特色を生かした競技やふれあ

いが見られ、その競技をたくさんのご家族や地域のみなさんが応援に来られていました。学校は地域の中にあり、地域のみなさんと共に成長していくんだなあと強く感じました。

もちろん、そのことは中学校でも同じです。三春、御木沢、中妻、中郷、沢石、要田、各地域から子どもたちは登校してきます。謂わば、各地域を背負って学校へとやってきます。そんな子どもたちが三春中学校で仲良く生活できるようにすることと共に、将来、各地域の担い手ともなれるような指導も必要であると考えます。これまで以上に、地域との「連携・コミュニケーション」を心がけてまいります。



### 【司書の先生の「しかけ」！

～しかけにかかってしまい、思わず、本が読みたくなりました。～】

校舎内をウロウロしているときのこと、図書スペースの柱に貼られた1枚の掲示物に目がとまりました。段ボールで作られたブックスタンドにちょこんと乗ったその本は、『笑顔の戦士』という題名がついていて、その図書の紹介の掲示物がかたわらに貼られていました。

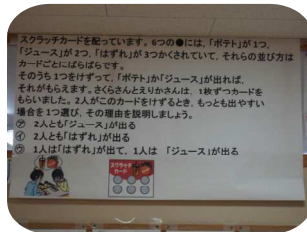
司書の増子先生にお話をうかがうと、授業で取り組んだ図書紹介の学習の際、もともと購入してあったこの本を選んだ生徒が作成した掲示物であり、書き直しまでしたその出来映えから、その掲示物を取り上げ、ここに掲示したということでした。

ここにも、生徒の活動に目を向け、その活動を認め、励ましてくださる先生がいました。これが三春中学校です。

### 【常に、学びたくなる学習環境を！ ～各教室の掲示がかわりました。～】

学年型教科教室方式というのは、三春中学校の大きな特長の一つです。3年生の社会科教室の前には、『郵便ポストの移り変わり』という表示で、古い時代から現在までの郵便ポストの模型が展示されていました。数学科教室前には、模造紙に掲げられた挑戦的な問題、2年生数学科教室前には、『数学のはなし』というタイトルで、非常に興味をひく内容の表示が掲げられていました。

時代は、平成33年度からの新学習指導要領完全実施を控え、その移行期に入っています。新学習指導要領のもと、『主体的・対話的で深い学び』の示す方向を見据え、育てるべき資質・能力の3つの柱(①生きて働く「知識・技能」の習得、②未知の状況等にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)というものが、本校に見られる各教科等における取り組みは、十分、それを視野の中に入れたものとなっています。



### 【子どもたちの心の安定度は？ ～トイレと雑巾掛の様子でわかることもあります。～】

田村支部中体連総合大会を1週間後に控え、先日の生徒指導・いじめ根絶委員会で、気になる情報ができました。女子トイレの使い方に課題があるということでした。雑巾掛けの雑巾は、いつもどおり、とても整えられています。トイレは、たまたまなのか、使う人の心に何か不安なことがあるのか、注意しながら見ていきたいと思います。

